

大津市会報告

日本共産党市会議員団

ご意見・ご要望お寄せください。

石黒 かつ子	岸本 のり子	佐々木 しょういち	杉浦 とも子	つかもと 正弘	八木 修
579-2261	594-6091	546-6653	525-9247	525-3230	534-5023



メールはこう

Eメールアドレス: info@otsu-jcp.net

2010年11月 発行：日本共産党大津市会議員団 〒520-0818 大津市西ノ庄5番16-1 ☎077-525-1500 FAX.077-525-1661

暮らしを応援する市政の役割の発揮を

2010年8月議会・決算特別委員会

一昨年来の景気後退と円高不況が暮らしを直撃する中で開かれた8月市議会と決算特別委員会は、市民生活を支える市政のあり方が問われるものとなりました。日本共産党議員団は、肝炎訴訟解決の意見書など建設的な提案を行うとともに、6名の議員全員が市民生活の切実な願いを取り上げて質問を行いました。

安心できる市民福祉としての市営葬儀事業の存続を

市民に信頼される葬儀事業の再生を

大津市が今年4月に実施した自宅葬儀の外部設営業務において、受託業者が料金を水増し請求したという不正請求と職員の関与が発覚、関係者への聴取や処分、事業者からの差し止め請求が行われるなど、真相究明と早急な問題解決が求められています。

これまでも事業者選定や葬儀で使う物品の使用料が明確でないなど、事業の透明性について問題が指摘されてきましたが、これを機会に信頼される葬儀事業への再生が求められています。

自宅葬の再開へ緊急の取り組みを

今回の事件の発覚後、市営葬儀事業のうち自宅葬が、6月末日以降現在も休止されています。杉浦とも子議員は、自宅葬再開を求める市民要望が多いことを指摘、緊急避難的に直営で自宅葬を実施するよう求めました。

市は係争中であり、再開のための条件整備など課題が多

くあることから、自宅葬の再開は困難であるとしています。

市民福祉としての直営の継続を

また市当局は今年7月「葬儀事業のあり方検討委員会」を設置し、市営葬儀事業の廃止・火葬場の指定管理者制度の導入という中間報告が行われています。

10数万円で葬儀ができる低廉さ、市営という安心感への市民の期待は大きいものがあります。市民福祉としての市営葬儀事業は直営で存続するべきです。



▲質問に立つ杉浦とも子議員



格差是正、雇用・社会保障の拡充を優先に

ますます困難に
なつた市民生活
昨年度は民間給与が一人平

赤字33億円 遅すぎた決断

一びわこ競輪事業廃止—

8月議会最終日、目片市長は今年度も7億円余の赤字を計上することが確定的となったため、大津びわ湖競輪の事業を廃止することを明らかにしました。

びわこ競輪の赤字は6年前から発生しており、共産党議員団は当時から廃止を含めた検討を求めてきました。市長はかつて「(赤字は)100億円程度までよい」とか「他の競輪場とのガマン比べ」などと言っていたこともあり、決断が遅れた責任は重大です。

今後は市債も含めて33億円の赤字解消が必要となりますが、市民への負担のしわ寄せをさせずに解決を図るよう、議員団としても論戦を進めます。

均23万7千円も減少。働く人の4人に1人が年収200万円以下となりました。一方で大企業は内部留保を1兆円も増やすなど格差と貧困が広がっています。

このような中で、市は財政が大変だからと行政改革プランをたてて、上・下水道使用料金の値上げで20億円もの市民負担を増やしました。さらに、生活保護世帯の修学旅行費補助の廃止、敬老祝いの減額など弱い立場の市民へのサービスを削り、ゴミ有料化への検討まで行っています。一方で、多額の内部留保を有する東レなど市内の大企業には8千万円もの工場建設補助金が

支出されたり、議員の海外視察旅行のムダづかいが行われています。

市民生活を支える
施策優先に

決算委員会では他の会派は昨年度一般会計での黒字を評価するなど、決算認定に賛成しました。共産党議員団は格差が広がりが暮らしが困難になる中、これに追い打ちをかける財政のゆがみをただすべきと主張。13億円もの黒字を使って、いのちと健康を支える国保や介護の負担軽減などの市民生活の底上げ、保育所建設や社会保障制度の再生に優先して取り組むべきと反対の討論を行いました。

8月議会には、母子生活支援施設「しらゆり」を社会福祉法人に指定管理する議案や、新設のおごと温泉観光施設(足湯など)の設置条例などが提案され、共産党議員団も賛成して可決されました。

◆母子支援施設の指定管理導入

市の設置する社会福祉施設は直営が望ましいと考えますが、今回の「しらゆり」の場合は、経費節減を目的としないこと、経験ある専門職を有する法人に指定するという条件としており、将来的に市が支援体制を整えることも求めて賛成しました。

◆おごと温泉観光施設計画

おごと温泉観光施設は、当初計画の外湯の設置はなくなりましたが、用地費も含め7億円にのぼる事業であり、事業効果を発揮するために進入路の改善や魅力ある施設運営への取り組みを求めました

課題を提言し、賛成討論